

## 令和 5 年度 認知症施策の取り組みについて

## 北名古屋市中部地域包括支援センター

内容
<p><b>【事業概要】</b></p> <p>認知症地域支援推進員の活動において、認知症疾患医療センターと認知症初期集中支援チームと協働し、認知症の方とその家族が地域で安心して暮らすための支援体制づくりを行った。</p> <p><b>【取り組み内容】</b></p> <p>① 新たなチームオレンジ「コスモス」の発足</p> <p>認知症サポーター養成講座受講修了した住民ボランティアと認知症当事者、認知症当事者家族、専門職で構成されるチームオレンジを結成。認知症当事者の願いを一緒に叶える活動を主体とし、コミュニティカフェでの傾聴ボランティアやカフェの運営の手伝いを行っている。</p> <p>② コミュニティカフェ（認知症カフェ）ソウモッカ開設</p> <p>11月より2か月に1回のコミュニティカフェを開設した。認知症のある人やその家族が抱える不安や孤立感を解消し、地域でいきいきと暮らし続けるための拠点で、チームオレンジ「コスモス」の活動拠点となっている。</p> <p>③ チームオレンジ「まあるい」の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・三重県桑名市のチームオレンジとの交流会を開催し、他市のチームオレンジの活動を参考にし、チームオレンジとしてこれからどのような活動を展開していくのかを共に考える機会を設けた。</li><li>・「まあるい」メンバーの定期交流会（年1回）を企画し持続可能な体制づくりの支援を行う。</li><li>・ゴミ出し支援の活動協力を行う。</li></ul> <p>④ 認知症当事者支援、社会参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・若年性認知症当事者に本人相談員を依頼、コミュニティカフェでの活躍の場を提供する。</li></ul>
成果
<p>認知症になっても希望をもって生活するための地域作りとして、新たなチームオレンジとコミュニティカフェ（認知症カフェ）を立ち上げることができた。認知症当事者とその家族の地域での居場所であり、活動拠点となっている。カフェでは、認知症当事者の社会参加の促進ができた。</p>